

社会福祉法人武蔵野会八王子福祉作業所

【施設利用者及びOBのための情伝達ツール開設】

■八王子福祉作業所とは

作業所は東京都が設置し、社会福祉法人武蔵野会が平成19年4月より移譲を受け、多機能型事業所（就労継続支援（B型））として運営しています。

＜設 立＞2007年4月

＜職員数＞常勤12,非常勤14,計26

＜利用者数＞定員 55

＜プロボノ参加メンバー＞

ワーカー1名、団体1名

＜活 動＞

障がいの状況にかかわらず利用者一人ひとりの自立を念頭に置き、作業を中心とした活動を柱として、日常生活や地域生活に関わる活動を支援しています。

＜団体web_site＞ <http://fukusaku.sakura.ne.jp/>

＜その他＞

武蔵野会全体としては、八王子を中心に都内と静岡県に25の福祉施設を運営しています。相互に連携を取り有機的な活動を実践しています。



社会福祉法人武蔵野会八王子福祉作業所 【施設利用者及びOBのための情伝達ツール開設】

■ 団体ニーズ

団体からはラインワークス導入と具体的な要望でしたが、後述の通り、ヒヤリングで真のニーズは組織内の縦の情報伝達ツールの導入でした。

■ 活動期間と態勢

活動期間：〈ヒヤリング〉

1/5 団体ニーズの再確認（支援センターにて）

1/7 団体からライン公式アカウント完成の報告

ワーカー：児島康生さん

■ 取り組み

当初団体だけの判断で導入しようとしていたラインワークスについての目的が、ヒヤリングの場で見直され、より相応しいライン公式アカウント開設することになりました。

■ 効果

利用者同士の情報共有ではなく（むしろ好ましくない）、運営管理者と利用者・OBとの連絡手段だったことが明らかになりました。団体が意欲的だった上、目的とツール機能が合致することが確認できたことで、即座にアクションを取り、2日後には開設でき、継続的な活用が出来ます。

■ 特記事項

プロボノのセオリーの幾つか（①外部の意見も採り入れる、②真のニーズへの対応を図る）が如何なく発揮できた事例になりました。



ヒヤリングで、団体だけで予定していたラインワークスよりも、ライン公式アカウント開設が相応しいことが判明



ヒヤリング時に伝授された事項を持ち帰って実行し、2日後には開設完了。